

高杉晋作辞世の句



功山寺境内の晋作の像

希代の革命戦略家「高杉晋作」は、吉田松陰と出会い、強烈な影響を受け、文久3年（1862）画期的な軍隊「奇兵隊」を結成します。

元治元年（1863）、英仏米蘭四国連合艦隊の下関砲撃事件では長州全権使節として和議を結び、小倉戦争では幕府との戦いに勝利するなど日本の歴史に名を残しました。

しかし、慶応3年（1867）、持病の肺結核のため、「面白きこともなき世を おもしろく 住みなすものは 心なりけり」の辞世の句を残し 27歳の若さで没します。